

高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

先月、鳥取大学医学部の浦上克哉教授をお迎えし、100名を超える参加者の中、「認知症フォーラム」を開催しました。現在、全国で65歳以上の高齢者のうち認知症の方は462万人、予備軍の軽度認知障害の方は約400万人います。このままでは、近い将来、認知症患者1千万人の時代が来ると言われています。認知症とはさまざまな原因で脳の細胞の機能が失われたり、働きが悪くなつて記憶力が低下し、日常生活に支障が出る状態のことです。単なる物忘れですと、例えば、昨日何を食べたかなど体験の一部を忘れることはあっても、忘れたことを自覚していますが、認知症の場合は、食べたこと自体を忘れてしまいます。認知症の約7割がアルツハイマー型で、現在は薬剤や環境を改善することで進行を遅らせたり、予防が可能となつていきます。軽度認知障害は2、3年後には認知症に移行することから、事前に治療や予防することが大切です。早期発見のため、先生はどこでも簡単に検査できるタッチパネル式コンピュータによる「物忘れ相談プログラム」を考案されました。受診者が自らパネルをタッチし質問に答えていきますので、ゲー



ム感覚で気軽にできます。検査の結果に応じて、予防教室への参加や医療機関の受診を促します。先生の指導でいち早く取り組んだ鳥取県琴浦町では、介護保険費用の削減効果が表れているそうです。本町でも今年度1台購入し、福祉保健まつりの健康応援ひろばでご紹介しました。来年度は、もう1台購入し、集団健診などで活用する予定です。

自分のできる認知症予防対策としては、俳句や短歌を作ったり、日記を書くなど創造的なことをしたり、運動や笑うことが良いとされています。アルツハイマー型には嗅覚神経を刺激するアロマセラピーも効果があるそうです。

本町では、地域の皆さんや警察・消防と連携し、高齢者の皆さんに安心して暮らしていただけるよう、「高齢者等見守りネットワーク」をはじめとしたさまざまな取り組みを行っていますので、気軽に相談ください。

町民サービス室 ☎823-9219
☎823-7927

三 暮らしの中の消費者トラブル

「告発すると脅されて300万円支払ってしまった」

(独立行政法人国民生活センター発行「見守り新鮮情報第176号」より転載)

■相談内容■

亡くなった夫宛てに、NPO法人を名乗る団体から「告発通知」という文書が届いた。驚いて差出人に電話をかけると、「あなたの夫がポルノビデオを買ったので告発される。今なら告発を取り下げることができの、お金を支払うように」と言われた。心当たりはないが故人の名を汚したくないと思い、5回にわたって合計約300万円を郵送したが、その後も「まだ足りない。あと150万円支払え」などと電話がある。どうしたらよいのか。

■アドバイス■

NPO法人を名乗る団体や弁護士などから「違法なわけせつビデオ・DVDの購入者を告発する。取り下げてほしい場合は連絡すること」などと書かれた文書が届いたという相談が依然として寄せられています。「違法」「告発」などと不安をあおって電話をさせ、取り下げ料などの料金を請求する架空請求の手口です。本人だけでなく、事例のようにすでに死亡している配偶者や同居していない息子の宛名で送付され、確認が取れず一層不安に駆られる場合もありますが、心当たりが「ある」「ない」にかかわらず、絶対に連絡してはいけません。

連絡してしまい、金銭を要求されても、決して支払わないようにしましょう。

■相談窓口■

海田町消費生活相談コーナー

☎823-9219

受付◆木曜日9時30分～16時(12時～13時を除く)

場所◆町民サービス室(役場2階)

広島県生活センター

☎223-6111

受付◆月～金曜日9時～16時(12時～13時を除く)

場所◆広島市中区基町10-52(県庁農林庁舎1階)



まちの話題

◀左から
広島法務局人権擁護部
吉中第一課長
人権擁護委員の
佐々木さん
生徒会長の中川さん
海田中学校原協校長



人権について考える 全国中学生人権作文コンテスト

法務省及び全国人権擁護委員連合会が主催する「第33回全国中学生人権作文コンテスト」において、継続的に人権作文コンテストへ応募した学校の取り組みが評価され、海田中学校へ感謝状が贈呈されました。

故郷・海田を学ぶ 町長の特別授業

昨年12月9日と11日に海田小学校と海田南小学校で、町長が海田町について講話を行いました。先人の功績などを紹介し、夢を持ち、夢を語ることができる人間になってほしいと、未来を担う子どもたちへメッセージを送りました。

▶町長の話に興味津々な児童たち



カープ選手と交流

広島安芸商工会ふれあい野球イベント

昨年12月15日、広島安芸商工会海田支所がカープ選手を招き、ふれあい野球イベントを開催しました。このイベントは、スタンプラリー加盟店(町内の広島安芸商工会会員)で買い物をし、スタンプを集めて応募した人を対象に行われたもので、町内事業所の販売促進や地域の活性化、子どもたちの健全育成などを目的としています。参加者から「スタンプラリーを通して初めてお店に行くきっかけになった」「選手との距離が近くてとても楽しかった」という声も聞かれ、イベントは大成功でした。



▲選手と一緒にランニングしながらハイタッチ!

▶玉いれのかごを背負って全力で逃げる選手!



歴史を振り返る

歴史講演会「長州戦争と広島」

昨年12月21日に西国街道・海田市ガイドの会の主催で、広島城主任(学芸員)の秋政久祐さんを講師として招き「長州戦争と広島」を演題とした歴史講演会が開催されました。

ガイドの会が案内するガイドコース内の明顕寺には、幕末の第2次長州戦争の際に戦死した34名を弔った新潟高田藩の墓がありますが、講演会では長州戦争にまつわる当時の広島周辺での戦いなどの話があり、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。



▶秋政久祐 広島城主任(学芸員)

